



第56期 中間報告書

平成19年4月1日▶▶平成19年9月30日

証券コード:7239



代表取締役社長

樽見耕作

当中間連結会計期間における自動車業界の動向を概観しますと、国内新車販売は、乗用車が前年同期（4月～9月）比で6.5%減、トラックが19.1%減、軽自動車が6.8%減となり、軽自動車を含む国内新車販売台数は、前年同期比8.1%減の2,485千台となりました。

一方、輸出台数は前年同期比6.8%増の3,134千台となり、上半期として4年連続でプラスとなりました。

これらの結果、当中間連結会計期間における軽自動車を含む国内自動車生産は、前年同期比0.9%減の5,479千台となりました。

なお、日系自動車メーカーの海外現地生産台数は、前年同期（1月～6月）比7.8%増の5,837千台となりました。

このような経営環境のもと、当社グループは、品質至上に徹し、付加価値改善や固定費削減に取り組みとともに、ビジョン2010の実現を目指し、基幹グローバル事業の整備に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は、日本・メキシコ・中国での販売増加に加え、為替変動に伴う円換算額増加もあり、前年同期に比べ22.8%増の1,207億9千3百万円となりました。

利益面につきましては、売上高増加による効果はありましたが、米国子会社での操業準備及び量産立上げ等一時費用の発生もあり、前年同期と比べ4億3千4百万円損失は減少したものの、営業損失1億4百万円となりました。また、国内持分法適用会社の業績悪化や為替差損の計上等により、経常損失1億8千3百万円、中間純損失1億1千2百万円となりました。

なお、当中間連結会計期間における事業別セグメントの業績は、次のとおりであります。

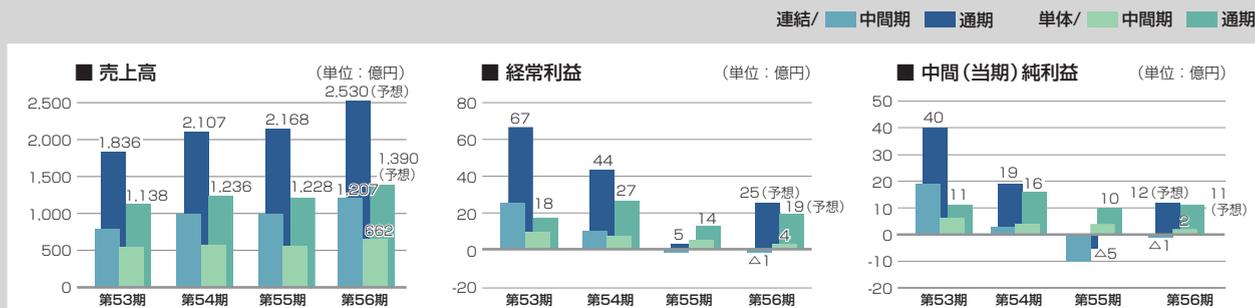
(ア) 自動車座席事業等

売上高は1,204億8千5百万円（前年同期比22.9%増）、営業利益は2億3千6百万円（前年同期は営業損失2億8百万円）となりました。

(イ) 不動産関連事業

保有資産の有効活用と安定した収益の確保を目的に、当社において不動産賃貸事業を行っております。売上高は3億7百万円、営業利益は1億6千2百万円となりました。

また、当中間連結会計期間における所在地別セグメントの業績は、次のとおりであります。



(ア) 日本

販売製品の車種構成変化は見られるものの、一部受注車種の販売が好調であったことから、売上高は648億9千5百万円（前年同期比16.8%増）となりましたが、新規受注車種の立上げ費用の発生等もあり、営業利益は前年同期とほぼ同水準の6億2千1百万円となりました。

(イ) 米国

予てより操業準備を進めていた タックル シーティング U.S.A. 社が販売を開始したことから、売上高は229億4千万円（前年同期比9.7%増）となりました。利益面につきましては、設計・開発会社での費用発生は減少しましたが、タックル シーティング U.S.A. 社の操業準備及び量産立上げ等一時費用の発生により、前年同期に比べ7千8百万円損失は減少したものの、営業損失1億2千6百万円となりました。

(ウ) カナダ

売上高は、為替変動に伴う円換算額増加により、159億9千3百万円（前年同期比3.7%増）となりましたが、車種構成変化の影響等もあり、営業損失6千1百万円となりました。

(エ) メキシコ

受注車種の販売増加に加え、為替変動に伴う円換算額増加により、売上高は128億7千6百万円（前年同期比101.1%増）となりましたが、新規受注車種の立上げ準備費用の発生等もあり、前年同期に比べ損失は減少したものの、営業損失1億3千1百万円となりました。

(オ) フランス

部品販売の増加や開発費の回収により、売上高は、2億9千万円（前年同期比242.6%増）となりましたが、固定費をカバーしきれず、

前年同期に比べ損失は減少したものの、営業損失3千万円となりました。

(カ) 中国

前年同期は操業準備中であったことから、操業準備費用のみ発生していましたが、前年度後半から販売を開始したことから、売上高は37億9千6百万円、営業利益は1億1千9百万円（前年同期は営業損失2億6百万円）となりました。

（注）当社の事業統括部門（管理部門等）に係る費用5億3百万円は配賦不能営業費用とし、上記の各事業別及び所在地別セグメントの営業費用には含めておりません。

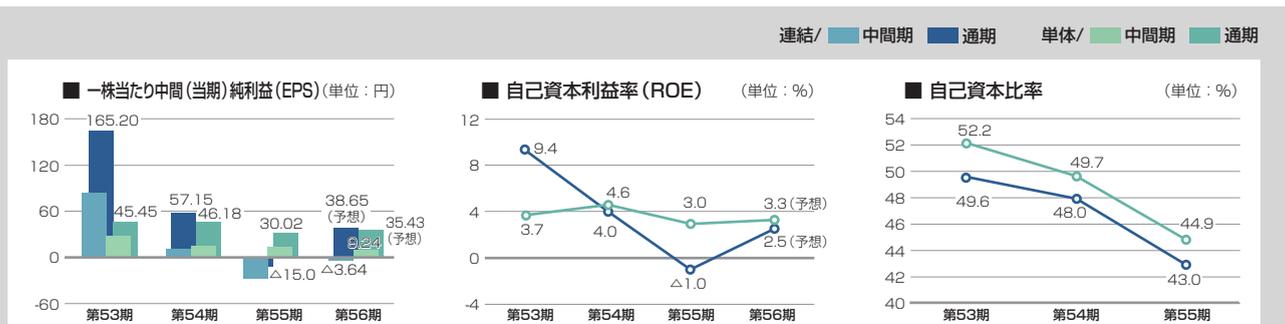
今後の見通しにつきましては、国内経済につきましては、一部に弱さが見られるものの、企業部門の好調さが持続し、景気回復が続くと予想されます。一方、グローバルに見ますと、サブプライムローン問題に端を発した米国経済の不透明感や原油の高騰に伴う原材料への影響などのリスクを抱えており、予断を許さない状況にあります。

また、自動車業界においては、グローバル事業の進展に伴い、コスト競争力や品質向上への対応力がさらに強く求められます。

内外環境の急激な変化に対応するため、当社グループといたしましては、現在、中期経営計画で掲げている下記の施策に全力を注力するとともに、収益体質をさらに強靱なものとするべく、諸施策に取り組む所存であります。

- 1) 付加価値改善の取り組み
- 2) 固定費削減の取り組み
- 3) グローバル事業の展開

これらの諸施策により、ビジョン2010の目標である世界トップレベルのシート・システム・クリエーターへの進展を目指してまいります。



財務諸表

■中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科目 | 前中間期 平成18年9月30日現在 | 当中間期 平成19年9月30日現在 | 前期 平成19年3月31日現在 |
|--------------|----------------------|----------------------|--------------------|
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | 52,961 | 61,612 | 57,137 |
| 固定資産 | 48,942 | 53,363 | 51,983 |
| 有形固定資産 | 29,118 | 32,420 | 30,684 |
| 無形固定資産 | 2,350 | 2,330 | 2,198 |
| 投資その他の資産 | 17,473 | 18,612 | 19,100 |
| 資産合計 | 101,903 | 114,976 | 109,120 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 40,538 | 53,899 | 48,368 |
| 固定負債 | 6,349 | 9,703 | 8,955 |
| 負債合計 | 46,887 | 63,602 | 57,323 |
| 純資産の部 | | | |
| 株主資本 | 44,662 | 41,588 | 41,958 |
| 資本金 | 8,145 | 8,145 | 8,145 |
| 資本剰余金 | 7,730 | 7,699 | 7,699 |
| 利益剰余金 | 29,679 | 29,313 | 29,682 |
| 自己株式 | △ 894 | △ 3,570 | △ 3,568 |
| 評価・換算差額等 | 4,265 | 5,016 | 4,989 |
| その他有価証券評価差額金 | 1,947 | 1,665 | 1,858 |
| 為替換算調整勘定 | 2,318 | 3,351 | 3,130 |
| 新株予約権 | 10 | — | — |
| 少数株主持分 | 6,077 | 4,768 | 4,848 |
| 純資産合計 | 55,015 | 51,373 | 51,796 |
| 負債・純資産合計 | 101,903 | 114,976 | 109,120 |

■中間連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科目 | 前中間期 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで | 当中間期 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで | 前期 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで |
|---------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 売上高 | 98,355 | 120,793 | 216,857 |
| 売上原価 | 93,677 | 115,084 | 205,154 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,217 | 5,813 | 11,893 |
| 営業損失 | 538 | 104 | 190 |
| 営業外収益 | 521 | 510 | 955 |
| 営業外費用 | 167 | 589 | 180 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △ 184 | △ 183 | 583 |
| 特別利益 | 369 | 79 | 416 |
| 特別損失 | 487 | 83 | 673 |
| 税金等調整前中間純損失(△) 又は税金等調整前当期純利益 | △ 302 | △ 187 | 325 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 406 | 274 | 902 |
| 法人税等調整額 | 190 | 121 | 10 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 117 | △ 471 | △ 83 |
| 中間(当期)純損失 | 1,016 | 112 | 503 |

■中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 科目 | 前中間期 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで | 当中間期 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで | 前期 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで |
|-----------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 274 | △ 3,326 | 4,096 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 3,581 | △ 2,827 | △ 7,985 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 863 | △ 222 | 372 |
| 現金及び現金同等物に 係る換算差額 | 91 | 305 | 69 |
| 現金及び現金同等物の 増減額 | △ 2,352 | △ 6,070 | △ 3,445 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 18,191 | 15,492 | 18,191 |
| 連結子会社増加に伴う現金及び 現金同等物の増加高 | 753 | 26 | 746 |
| 現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高 | 16,592 | 9,448 | 15,492 |

■ 中間連結株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | | 評価・換算差額等 | | | 少数株主 持分 | 純資産合計 |
|---------------------------------|-------|-------|--------|---------|--------|------------------|--------------|----------------|------------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算 調整勘定 | 評価・換算 差額等合計 | | |
| 前期末残高 | 8,145 | 7,699 | 29,682 | △ 3,568 | 41,958 | 1,858 | 3,130 | 4,989 | 4,848 | 51,796 |
| 中間連結会計期間中の変動額 | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | — | — | △ 186 | — | △ 186 | — | — | — | — | △ 186 |
| 中間純損失 | — | — | △ 112 | — | △ 112 | — | — | — | — | △ 112 |
| 自己株式の取得 | — | — | — | △ 1 | △ 1 | — | — | — | — | △ 1 |
| 自己株式の処分 | — | 0 | — | 0 | 0 | — | — | — | — | 0 |
| その他 | — | — | △ 70 | — | △ 70 | — | — | — | — | △ 70 |
| 株主資本以外の項目の中間連 結会計期間中の変動額(純額) | — | — | — | — | — | △ 193 | 221 | 27 | △ 80 | △ 53 |
| 中間連結会計期間中の変動額合計 | — | 0 | △ 369 | △ 1 | △ 370 | △ 193 | 221 | 27 | △ 80 | △ 423 |
| 当中間期末残高 | 8,145 | 7,699 | 29,313 | △ 3,570 | 41,588 | 1,665 | 3,351 | 5,016 | 4,768 | 51,373 |

■ 中間単体貸借対照表

(単位：百万円)

| 科 目 | 前中間期 平成18年9月30日現在 | 当中間期 平成19年9月30日現在 | 前 期 平成19年3月31日現在 |
|--------------|----------------------|----------------------|---------------------|
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | 31,510 | 33,904 | 32,704 |
| 固定資産 | 38,985 | 39,720 | 39,495 |
| 有形固定資産 | 16,439 | 16,603 | 16,390 |
| 無形固定資産 | 440 | 466 | 489 |
| 投資その他の資産 | 22,105 | 22,651 | 22,615 |
| 資産合計 | 70,496 | 73,625 | 72,199 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 29,246 | 34,080 | 32,113 |
| 固定負債 | 5,737 | 7,193 | 7,641 |
| 負債合計 | 34,984 | 41,274 | 39,754 |
| 純資産の部 | | | |
| 株主資本 | 33,728 | 30,687 | 30,588 |
| 評価・換算差額等 | 1,772 | 1,663 | 1,856 |
| 新株予約権 | 10 | — | — |
| 純資産合計 | 35,511 | 32,351 | 32,444 |
| 負債・純資産合計 | 70,496 | 73,625 | 72,199 |

■ 中間単体損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 前中間期 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで | 当中間期 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで | 前 期 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで |
|--------------|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| 売上高 | 56,523 | 66,246 | 122,890 |
| 売上原価 | 53,498 | 63,023 | 116,054 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,993 | 3,088 | 6,224 |
| 営業利益 | 31 | 135 | 612 |
| 営業外収益 | 636 | 408 | 952 |
| 営業外費用 | 78 | 88 | 135 |
| 経常利益 | 589 | 455 | 1,429 |
| 特別利益 | 174 | 77 | 203 |
| 特別損失 | 128 | 173 | 304 |
| 税引前中間(当期)純利益 | 635 | 359 | 1,328 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 59 | 94 | 252 |
| 法人税等調整額 | 175 | △ 21 | 42 |
| 中間(当期)純利益 | 400 | 286 | 1,033 |

「世界に、未来に、ニュースです。
Catch the News , Touch the Future」をテーマに、
第40回東京モーターショーが幕張メッセで開催されました。

今回当社は、「Seat System Creator」をテーマに、内装部品メーカーである河西工業殿と共同出展スペースを設け、共同開発コンセプトモデル「Relaxation and Healing Concept Seat」を展示しました。

このコンセプトモデルは、3rdシートをメイン席、2ndシートをエマーゼンシーとした大人4人が快適に移動できる新しい空間です。当社の薄型シート技術を活かした2ndシートは、普段はオットマンとして使用し、必要のないときは3rdシートの下に収納することができます。

当社と河西工業殿の展示スペースには多くの来場者が訪れ、非常に高い評価をいただきました。

なお、河西工業殿とは、昨年11月に業務提携し、製品の共同開発、生産等の相互委託、経営資源の相互活用等4つの分科会において、シナジー効果を出すべく活動に取り組んでおります。



■ 会社概要

設立 昭和29年4月7日
 資本金 8,145百万円
 従業員数 5,624名(連結) 1,376名(単体)
 主要な事業内容 自動車座席・座席部品の製造及び販売

■ 株式の状況

発行可能株式総数 140,000,000株
 発行済株式の総数 35,022,846株
 株主総数 4,291名

大株主及び持株数

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---------------------------------|---------|---------|
| 日野自動車株式会社 | 1,521 | 4.90 |
| 株式会社齊藤 | 1,514 | 4.88 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 1,302 | 4.19 |
| ザバンクオブニューヨークジャスティックトリーティー アカUNT | 1,266 | 4.08 |
| 齊藤 静 | 1,166 | 3.76 |
| ゴールドマン・サックス・インターナショナル | 1,039 | 3.35 |
| タチエス取引先持株会 | 983 | 3.17 |
| 河西工業株式会社 | 905 | 2.92 |
| ステート ストリートバンクアンドトラスト カンパニー | 815 | 2.63 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4) | 767 | 2.47 |

※出資比率は自己株式(3,975,120株)を控除して計算しております。

■ 役員

| | | | |
|-----------------------------------|--|--|-------|
| 代表取締役会長 最高経営責任者 | 齊藤 潔 | | |
| 代表取締役社長 最高執行責任者 | 樽見 耕作 | | |
| 代表取締役・副社長 取締役・常務執行役員 | 小池 満也 田口 上史 野川 義之 木津川 迪治 | | 松下 和好 |
| 社外取締役 常勤監査役 社外監査役 常務執行役員 | 小泉 忠男 河合 弘之 三木 利光 川村 清治 | 川崎 守 一法師 信 並木 一 小林 英 | 武章雄 |
| 執行役員 | 久次 米好 矢島 豊 大野 泰明 西村 茂 蒲生 睦 石川 毅 | 福田 譲 中村 隆 和歌月 逸 針ヶ谷 博 松下 隆 | |

■ 事業所

| | | |
|------|--------|----------|
| 本社 | 技術センター | 技術センター愛知 |
| 愛知工場 | 武蔵工場 | 青梅工場 |
| 栃木工場 | 平塚工場 | 鈴鹿工場 |
| 追浜工場 | 金沢営業所 | |

■ 国内グループ会社

| | | | |
|------------------|-------------------------|------------|--------------|
| シート事業 | 錦陵工業株式会社 | その他 | 株式会社タチエスパーツ |
| シート縫製事業 | 株式会社Nui Tec Corporation | | 立川発条株式会社 |
| シート機構部品事業 | 富士機工株式会社 | | 株式会社日新工業所 |
| | | | タチエスサービス株式会社 |
| | | | 株式会社TSデザイン |
| | | | 有限会社エフケー |
| | | | 有限会社シセイ |

■ 海外グループ会社

| | | |
|------------------|---|--------|
| 開発/総括 | Tachi-S Engineering U.S.A., Inc. | (アメリカ) |
| | Tachi-S Canada, Ltd. | (カナダ) |
| | Tachi-S Engineering Europe S.A.R.L. | (フランス) |
| シート事業 | TACLE Seating U.S.A., LLC | (アメリカ) |
| | Setex, Inc. | (アメリカ) |
| | SynTec, Inc. | (アメリカ) |
| | Setex Canada GP | (カナダ) |
| | Industria de Asiento Superior, S.A. de C.V. | (メキシコ) |
| | TACLE Seating U.K. Limited | (イギリス) |
| | 広州泰李汽車座席有限公司 | (中国) |
| | 鄭州泰新汽車内飾件有限公司 | (中国) |
| シート縫製事業 | TechnoTrim, Inc. | (アメリカ) |
| | 泰極汽車内飾(太倉)有限公司 | (中国) |
| | 泰極(広州)汽車内飾有限公司 | (中国) |
| シート機構部品事業 | Fuji Autotech U.S.A., LLC | (アメリカ) |
| | 広州富士機工汽車部件有限公司 | (中国) |

■ 当社製品採用車種

| | |
|---------|--|
| ホンダ | アコードセダン、アコードワゴン、ステップワゴン、ストリーム、エアウェイブ、エディックス、モビリオ、モビリオ・スパイク、パートナー、クロスロード |
| 日産 | スカイライン、ラフェスタ、キューブ、フェアレディZ、ステージア、サファリ、FX45、ダットサントラック、クルー、サファリピックアップ、シルフィー |
| トヨタ | ラクティス、イスト、ヴィッツ、ハイラックスサーフ、FJクルーザー、プレミオ、アリオン |
| 三菱 | グランディス、コルト、コルトプラス、パジェロIO、チャレンジャー、アウトランダー |
| 日野自動車 | プロフィア、デュトロ(トヨタダイナ) |
| 日産ディーゼル | クオン、コンドル |
| いすゞ | トラックシート用部品 |
| ジェイ・バス | バス用シート |

株 主 メ モ

| | |
|---------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日～翌年3月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月下旬 |
| 基準日 | 定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人 | 〒105-0014 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱所 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-78-2031 (フリーダイヤル) |
| 同 取 次 所 | 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店 |

お 知 ら せ

住所変更、単元未満株式買取請求、単元未満株式買増請求、名義書換請求及び配当金振込指定等につきましては、株主名簿管理人のフリーダイヤル又はホームページで承ります。

フリーダイヤル：(各種用紙請求) 0120-87-2031(24時間受付)
(お問い合わせ) 0120-78-2031

ホームページ：http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

株 主 優 待 制 度 に つ い て

当社では、株主の皆様への利益還元のひとつとして、株主優待制度を下記の基準により実施しております。

<QUOカード>

| ご所有株式数 | 中間(基準日9月30日) | 期末(基準日3月31日) |
|----------------|--------------|--------------|
| 100株以上1,000株未満 | | 1,000円相当 |
| 1,000株以上 | 1,000円相当 | 3,000円相当 |

単元未満株式をご所有の株主様へ

当社では、単元未満株式の買取制度及び買増制度を導入しております。

●買取制度について

1単元(100株)に満たない株式をご所有の株主様は、当社に対し、その株式の買い取りを請求することができます。

●買増制度について

1単元(100株)に満たない株式をご所有の株主様は、当社に対し、その株式と併せて1単元となるように株式の買い増しを請求することができます。例えば、60株をお持ちの株主様は、40株を買い増しすることにより1単元にすることができます。なお、1単元をお持ちいただきますと、株主総会での議決権行使が可能となり、株主優待を受けることができます。

お手続きの詳細につきましては、当社株主名簿管理人である中央三井信託銀行までお問い合わせください。なお、保管振替制度をご利用の株主様は、お取引のある証券会社までお問い合わせください。

株式会社タチエス

本社 〒196-8611 東京都昭島市松原町3丁目3番7号 Tel.042-546-8111(代)
ホームページ <http://www.tachi-s.co.jp/>



環境に配慮した「大豆インキ」を使用しています。

古紙配合率100%再生紙